

ハザードマップと洪水時の避難に関する現状と課題

※第1回委員会配布資料

参考資料

今後の検討課題	第1回 (12月14日)	第2回 (1月下旬)	第3回 (3月上旬)
1. 利用者目線に立ったハザードマップの改善 (1) 利用者目線に立った水害ハザードマップの表示方法と利活用シチュエーション ① ハザードマップの見やすさに着目した表示方法の整理 ② ハザードマップの危険度の閾値、配色等の災害種別間の統一 ③ 異なる災害種別・複数河川等が関係する場合のハザードマップの表示方法 ④ ハザードマップの利活用シチュエーションに応じた表示方法・媒体の整理 ⑤ 避難方法(避難経路、手段)や家屋倒壊危険区域、広域避難等に関するハザードマップへの表示方法 ⑥ 住民等の適切なタイミングでの避難判断を支援するハザードマップのあり方 ⑦ 外国語対応 ⑧ 小規模自治体におけるハザードマップ作成の支援、底上げ (2) ハザードマップの活用・認知度向上に向けた取組 ① 自治会、自主防災組織との連携、防災訓練、学校教育との連携方策 ② 住民等が自ら手を動かすような取り組み ③ ハザードマップを含めたソフト対策について優良事例の水平展開のための施策、仕組み検討	ハザードマップに関する現状と課題、関東・東北豪雨で明らかになった課題 課題から見た取組方針	課題から見た取組方針 水害ハザードマップ作成の手引き(仮称) たたき台 課題から見た取組方針	水害ハザードマップ作成の手引き(仮称) 素案
2. 想定最大規模の水害を踏まえた避難方法 ① 避難勧告ガイドラインにおける避難の考え方 ② 立ち退き避難が必要な区域の考え方について ③ 屋内安全確保について ④ 広域避難について ⑤ 想定最大規模の外力における避難のあり方	課題から見た取組方針	想定最大規模の水害を踏まえた避難の考え方(案)	1